

CorelDrawアドインの使い方

RSD-SUNMAX-QS 制御用ソフトウェア LaserCut5.3 を CorelDraw から制御する方法を説明します。

① インストール

LaserCut をインストールする際に、インストールタイプに「CorelDraw」を選択してください。CorelDraw のメニュー やツールバーに RSD-SUNMAX-QS を制御するコマンドが追加されます。

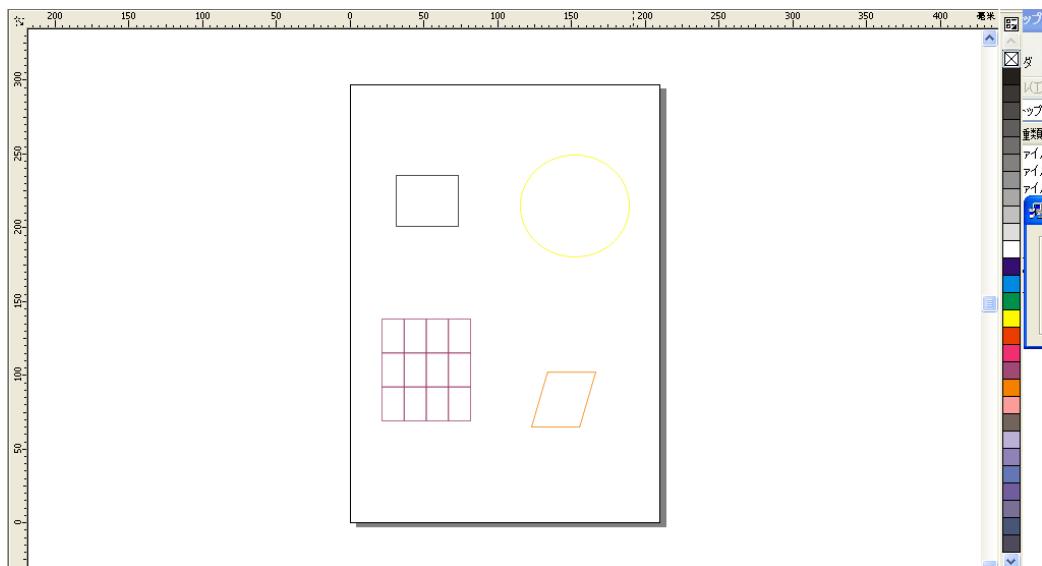


尚、LaserCut5.3 が対応する CorelDraw のバージョンは、11、12、X3 の 3 種類です。

対応バージョンの CorelDraw がインストールされていない PC の場合、LaserCut のインストールは行われません。その場合はインストールタイプに LaserCut53J(スタンドアローン版)を指定してください。

以下は、インストールタイプ CorelDraw でインストールした場合の操作方法(例)です。

② CorelDraw を開いて、とりあえず、4色程度の色分けをして簡単な線画を作ってください。

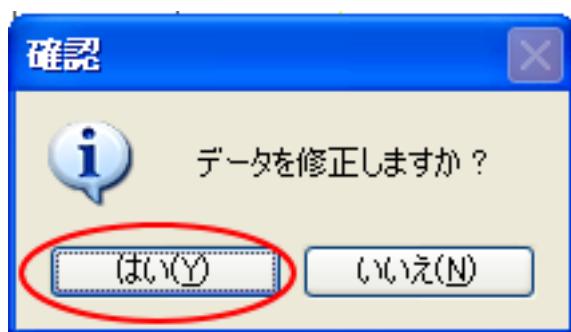


③ 作ったデータを CDR 形式 (*.cdr) で保存してください。

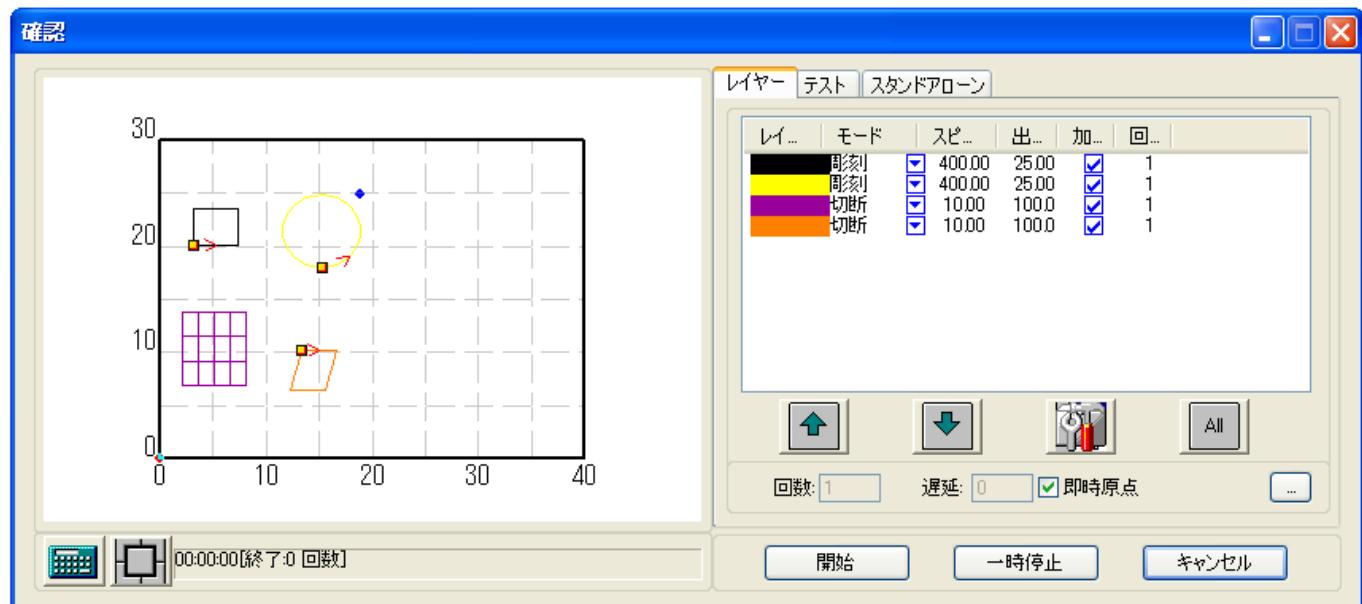
④ レーザー加工機制御ツールバーのボタンをクリックして下さい。



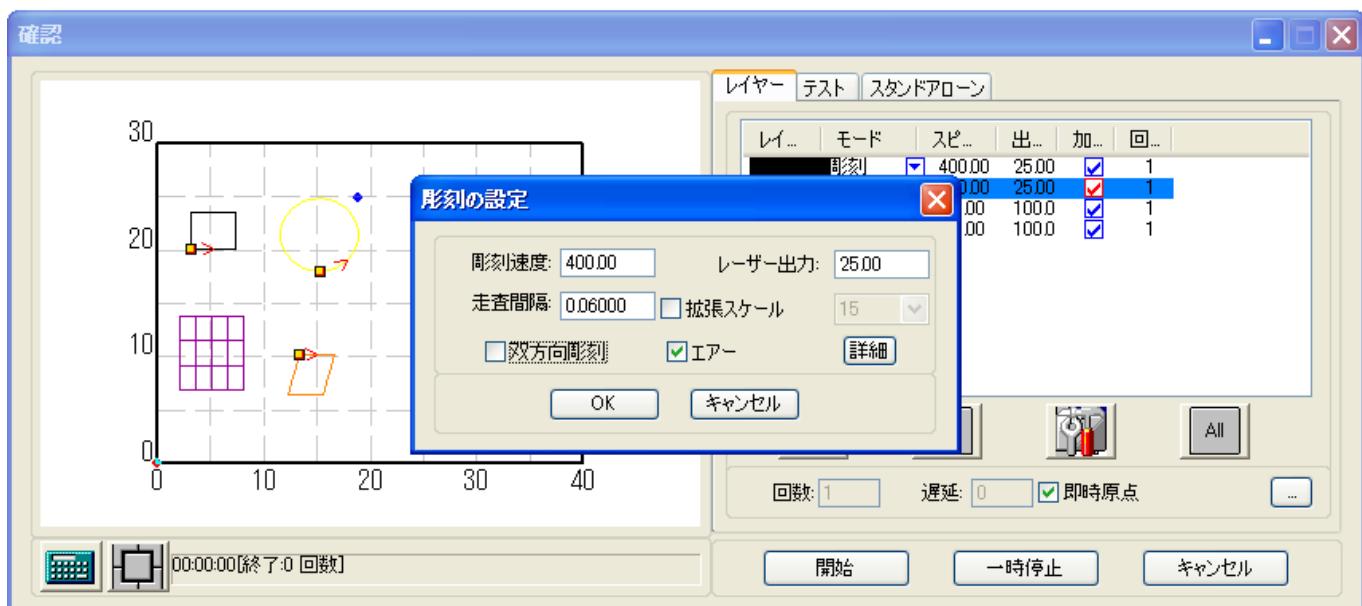
⑤ 確認ダイアログが表示されるので、「はい」をクリックして下さい。



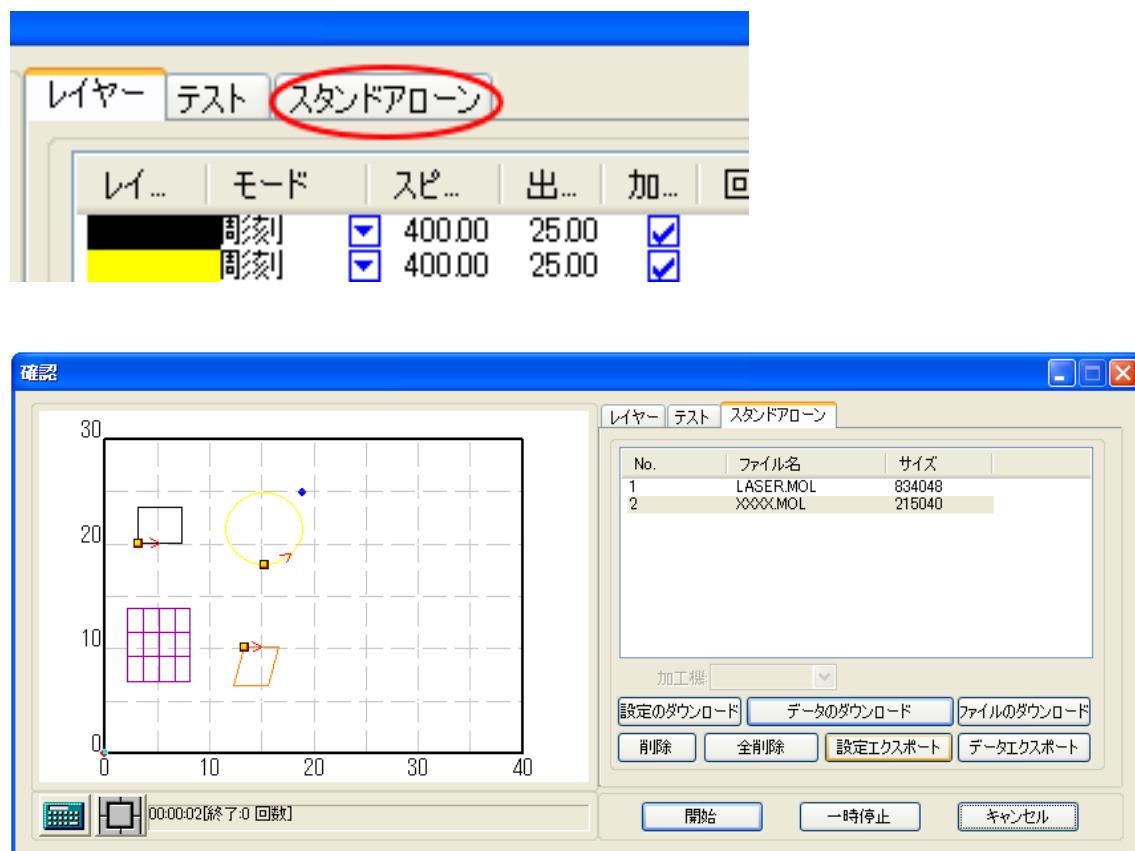
⑥ データ設定用のダイアログが表示されます。



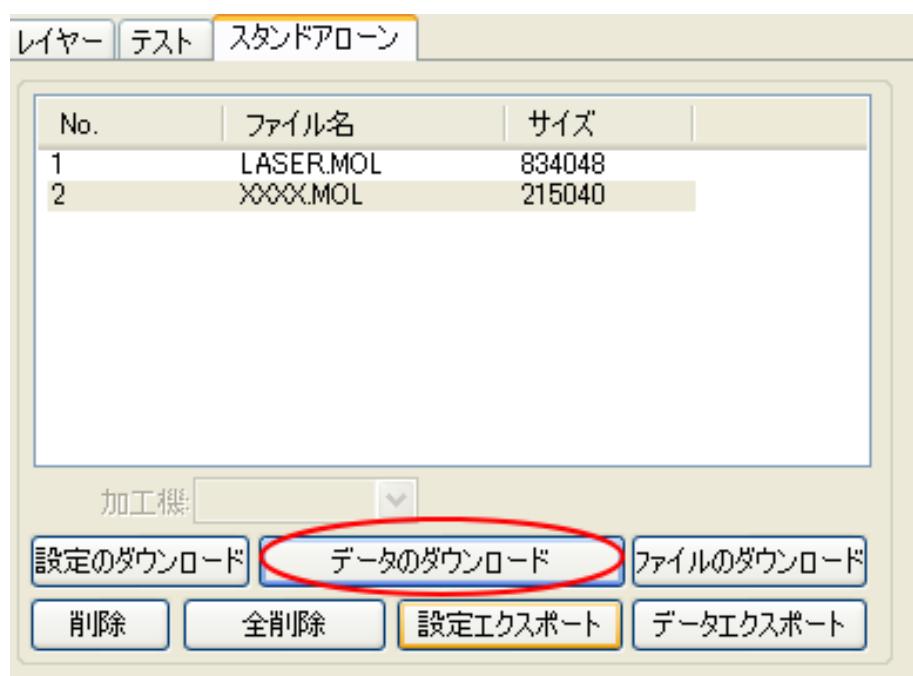
スタンドアローン版の LaserCut と同様に、各レイヤー毎の加工設定が行えます。



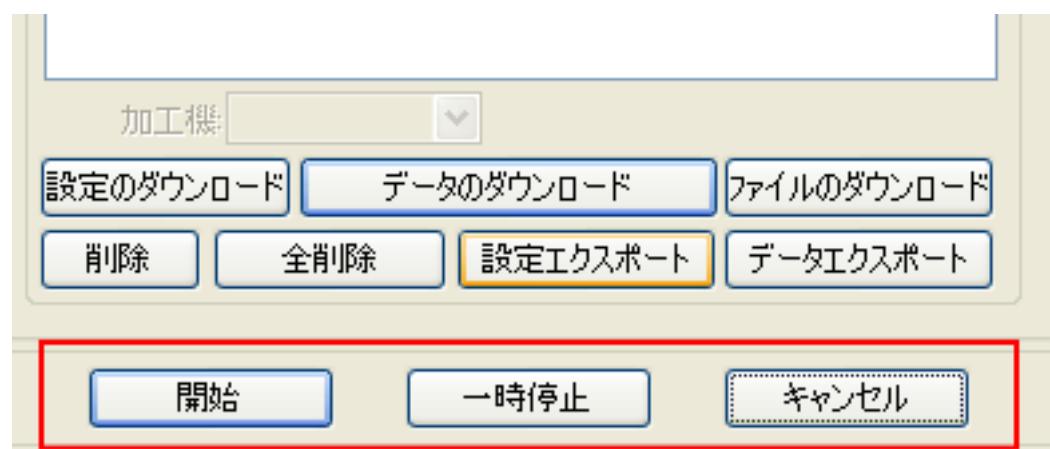
- ⑦ 設定が終わったら、「スタンドアローン」タブをクリックします。
この時、レーザー加工機の電源は ON にして、稼働できる状態にしておきます。



- ⑧ 「データのダウンロード」をクリックします。スタンドアローン版と同様、レーザー加工機にデータが転送され、加工ができるようになります。



⑨ 下図のボタンより、レーザー加工機を制御できます。



開始 加工を開始します。

一時停止 加工を一時停止します。

キャンセル 加工を終了します。